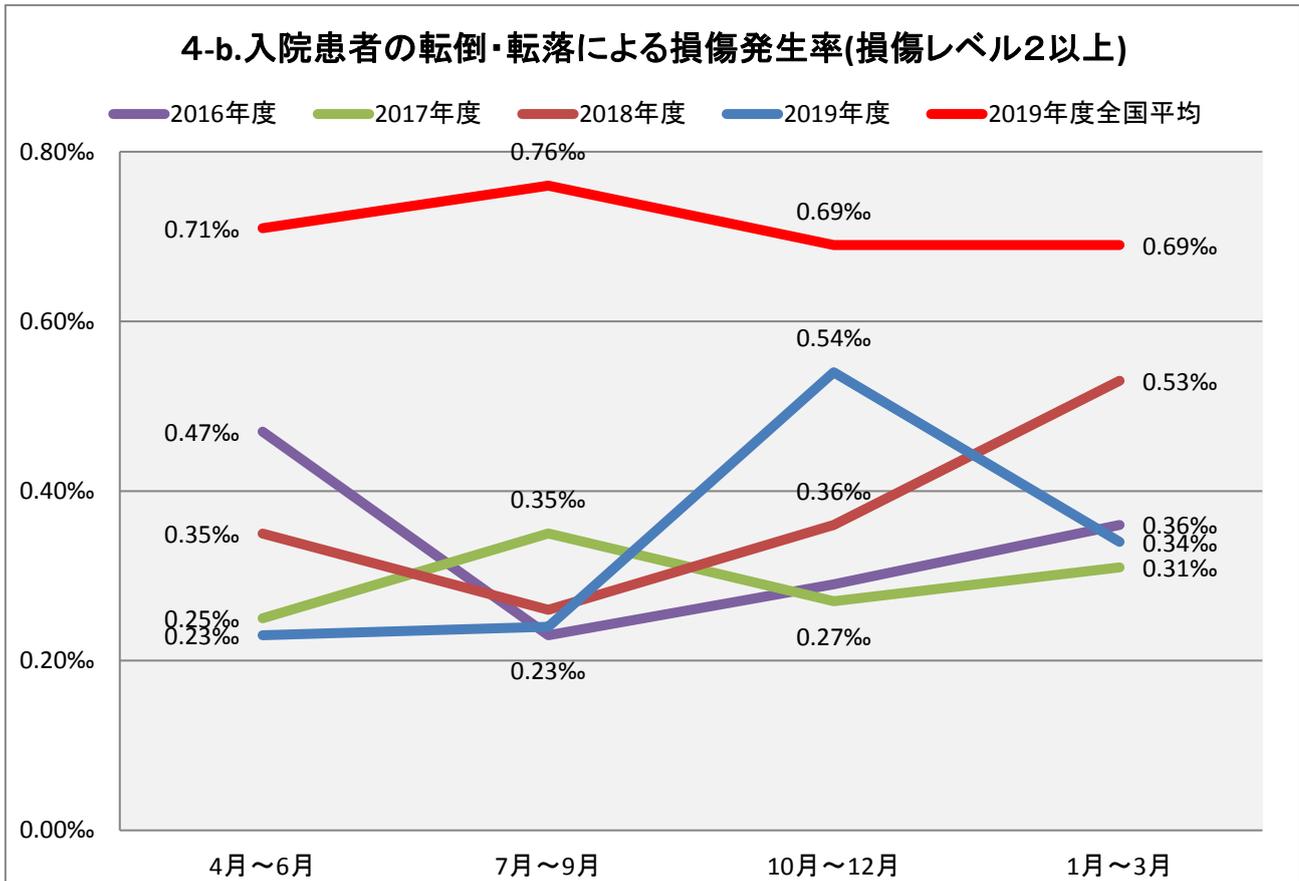


4-b.入院患者の転倒・転落による損傷発生率(損傷レベル2以上)

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2019年度	0.23%	0.24%	0.54%	0.34%
2018年度	0.35%	0.26%	0.36%	0.53%
2017年度	0.25%	0.35%	0.27%	0.31%
2016年度	0.47%	0.23%	0.29%	0.36%
2019年度全国平均	0.71%	0.76%	0.69%	0.69%

(2) 指標の説明
 転倒・転落による傷害発生事例の件数は少なくとも、それより多く発生している傷害に至らなかった事例もあわせて報告して発生件数を追跡するとともに、それらの事例を分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなります。こうした事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。

(3) 定義
 分子:入院中の患者さんに発生した損傷レベル2以上の転倒・転落件数
 分母:入院患者延べ数

※ % (パーミル)・・・1000分の1を1とする単位

※損傷レベル

- 1 な し :患者に損傷はなかった
- 2 軽 度 :包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
- 3 中軽度 :縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
- 4 重 度 :手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった
- 5 死 亡 :転倒による損傷の結果、患者が死亡した
- 6 U T D :記録からは判定不可能